

教 学 半 也



特別支援学級担任
特Co 必見!!

いま
特別支援教育の現在③ 令和4年3月15日

特別支援学級の先生方は知っておこう 編 その2



Q. 自立活動って何?

A. 学習や生活の困りごとを減らしたりなくしたり、あるいは乗り越えたり等して、自立を目指して行うもの※だよ。



Q. 「自立を目指す」って何をやるの?

A. 「自立」は、自分から・自分で、めいっばいに力を使って、よりよく生きようとする事だね。そのために、人それぞれに応じて必要な力をつけるんだよ。



Q. 「人それぞれ」ってことは、児童生徒それぞれってことか。例えば、何のために、何をしたらいいのかな?

大切なことを含めて、取組例を紹介するね。



※1 「自立活動は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達のための基盤を培う。」
(参考:特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月公示) 第7章 第1 目標 より引用)

南箕輪小学校の実践



南箕輪小学校では、全学級でSST※2を扱い、子どもたちの社会性の育ちを支えています。

- 前年度研究から、一定の成果(右上参照)が得られましたので、今年度は、
- 安心して活動に参加できる授業づくり
- 個に応じた課題設定のあり方
- 評価のあり方
- 学習や生活に活かすための方策等に取り組めます。



特別支援教育研究部会
小口先生

南箕輪小学校のSST授業研究の前年度の成果〇と課題◇

- ・SSTを指導する上で
- 児童の必要感をもとに
題材を設定し、内容を決めること
- ◇課題設定のあり方や、
活動したことを生活にどう還元していくか

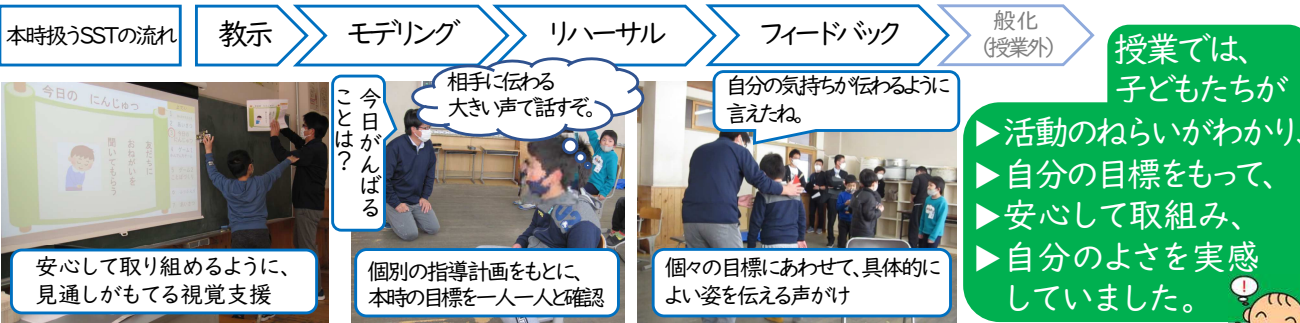
「個別の指導計画」をもとにしていることが大切。小口先生は、課題設定に「特別支援教育 学習指導要領サポートブック」P.48~53の「流れ図」を参照されていました。



※2 ソーシャル・スキル・トレーニング。南箕輪小学校の特別支援学級では、自立活動としてSSTを扱い、SSTを通して子どもが願いを実現したり、課題を達成したりする授業改善に取り組んでいます。以下にその一部を紹介します。

授業実践(一部抜粋) 「ことばづくり」

1人4枚の文字カードで2組の言葉をつくります。カード交換の時にコミュニケーションを要する活動です。



ITで支援した
大槻先生

本時の子どもの姿を予想し、よさを伝える言葉かけを想定しておくことの大切さを学びました。SSTの「般化」に欠かせないものです。



自立活動には個別の指導計画や「流れ図」が欠かせません。SSTだけではなく、どの授業においても、子どもの課題意識と振り返りの大切さを子どもの姿から改めて学びました。

授業づくりにおいて、小口先生は、一人一人のニーズを把握するときに、苦手なことや課題だけではなく、よさや伸びつつあることにも着目し、指導目標を設定されていました。自立活動が「活動ありき」にならないように、一人一人に応じた目標が適切に設定された南箕輪小学校の取組に学びたいものです。

